



633A 乗務員に懲戒処分と懲罰出向！

**JR 東海ユニオンは社長発言を根拠に会社を擁護？
真面目に働く労働者を護れ！！**

先月5月16日、633Aの運転士がトイレに行くため数分間運転室を離れたのは、皆さんご承知のことと思います。

本件は世論を巻き込んで、テレビやインターネット、ラジオ等のメディアでも大きな論争となり、「生理現象なのでやむを得ない」「JR東海は物を言わせない風土になっていたのではないか」「運転士、車掌には厳罰は下すな」と、乗務員に対して同情的な意見が多く寄せられました。金子慎社長は、乗務員が勝手にやったことだと責任をなすりつけ乗務員に厳罰を下すと報道でほめかしていました。

そして、聞くところによると、非常に残念ながら、彼らに対して懲戒処分と、他会社への出向が言い渡されたそうです。

ここで一つの疑問が生じます。なぜ、彼らの処分伝達は1ヶ月以上もかかったのでしょうか？

これは、会社が、世論が忘れるタイミングを狙ったものと言えるでしょう。たしかにいま、残念ながらこのニュースは世の中からはほぼ忘れ去られています。

また、ネットニュースの意見書き込み欄で、一般社員が会社批判の書き込みを見つけると、上司や非現業に報告し、誰が書き込んだかを詮索し、削除させるよう動いていたと聞いています。（自分の評価が上がると思っているの？）

これはもはや民主主義を否定した相互監視状態です。

ところで、彼らが所属しているJR東海ユニオンは、今まで何をしていたのでしょうか？おそらく、彼らが相談に来ても、社長発言を根拠に会社を擁護し、他労組に相談していないか？くらいの確認しかなく、彼らを護ることは一切していなかったのではないのでしょうか？

JR東海ユニオンの役員の皆さん、手を胸に当てて、どう思われますか??!!

良心あるユニオンの皆さん、今一度、労働組合の存在意義を考えましょう!!